

診断士会 News

No.2022-03

2022 年 6 月 27 日

鳥取県コンクリート診断士会

〒682-0025 倉吉市八屋 354-1

☎0858-26-2411 Fax0858-26-5537

国土交通省中国地方整備局と中国5県コンクリート 診断士会との意見交換会

1. 日時：令和4年6月27日(月) 13:30～16:00
2. 場所：国土交通省 中国地方整備局 合同庁舎2号館7階 共用4号会議室
3. 出席者

国土交通省 中国地方整備局 道路部

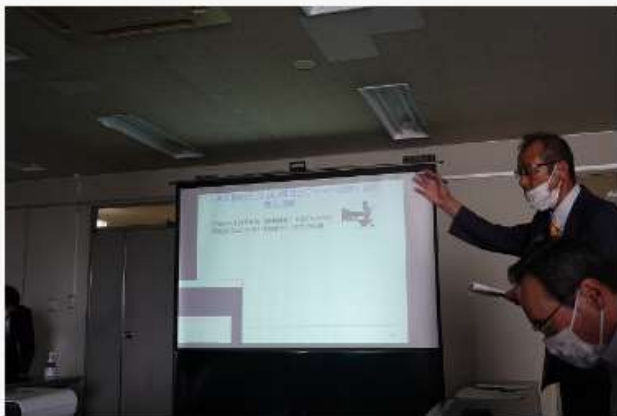
特定道路工事対策官	森岡敏幸	改築担当
道路保全企画官	梅田俊夫	保全担当
道路構造保全官	大下孝志	保全担当
道路構造保全官	塚本勝幸	保全担当
建設専門官	高島隆志	改築担当

コンクリート診断士会

鳥取県	会長	田中孝志	西谷技術コンサルタント(株)
	事務局長	村下 勝	西谷技術コンサルタント(株)
島根県	会長	松浦寛司	(株)エイト日本技術開発
	副会長	竹下章司	三瓶生コン(株)
岡山県	会長	澤 嗣朗	(株)エイト日本技術開発
	事務局長	海野達夫	(株)エイト日本技術開発
広島県	会長	十河茂幸	近未来コンクリート研究会
	副会長	岡田繁之	(一財)橋梁調査会
	事務局長	徳納 剛	福德技研(株)
山口県	会長	瀬原洋一	トキワコンサルタント(株)
	幹事	小田原裕司	トキワコンサルタント(株)

4. プログラム

13:30～13:35	開会挨拶（診断士会代表者＋出席者紹介）
13:35～14:35	国5県コンクリート診断士会活動報告
14:35～15:00	中国地方整備局からの情報提供
15:00～15:30	質疑・応答他（国交省への質問及び要望）
15:30～16:00	中国5県コンクリート診断士会連絡会



中建日報

発行所
中建日報社
広島市中区十日市町2-1-8
〒730-0805 TEL (082) 297-7111(代)
FAX (082) 297-7112
https://chukun-news.com/
E-mail:info@chukun-news.com
購読料 1ヶ月 8,950円
© 中建日報社 2022

小物なら何でも揃う
建設機械
レンタル・リース

安森機工株式会社
YASUMORI KIKOH CO., LTD.
本社 広島市中区南吉島1-2-27
TEL (082) 246-1511(番代)
FAX (082) 246-1514番
E-mail:info@yasumori-net
光南倉庫 広島市中区光南3-2-22
TEL (082) 541-5650番
FAX (082) 541-5660番

診断士の処遇改善など要望

第2回意見交換会開く

中国地方整備局と中国5県のコンクリート診断士会による意見交換会が6月下旬、広島市中区の合同庁舎内で開かれた。会合では、各県の診断士会が展開している技術者育成や講師派遣などの活動内容を報告したほか、中国地方における老朽化対策の取り組みなどについて情報共有。また、RCCMや技術士などを引き合いに、入札契約制度における診断士の処遇改善などを求めた。

会合は、両者が情報共有によって維持補修事業の円滑な推進、診断士の地位向上につなげるためのもので、2020年度に第1回目が開かれ、今回が2回目。

中国地整からは道路部の森岡敏幸特定道路工事対策官、梅田俊夫道路保全企画官ら改築・保全部門の幹部職員、診断士会からは、広島県コンクリート診断士会の十河茂幸会長（近未来コンクリート研究会）をはじめ、岡山県の澤嗣郎会長（エイト日本技術開発）、山口県の瀬原洋一会長（トキワコンサルタント）、鳥根県の松浦寛司会長（エイト日本技術開発）、鳥取県の田中孝志会長（西谷技術コンサルタント）ら5県の会長・副会長クラスが参集した。

冒頭、十河会長は「コンクリート診断士資格者は全国で約1万4000人、中国5県では約1100人しかおらず、合格率も15%前後と狭き門。難しい試験を突破した技術者に活動の場をしっかりと与えてもらいたいというのが正直なところ。今回の意見交換が有意義なものになるようお願いしたい」と強調した。

意見交換で主な議題となったのは、診断士の処遇改善や適切な維持補修に向けたさらなる連携、補修・再劣化事例の積極的な情報開示などについて。

処遇改善では、診断士が国交省の登録資格で「計画・調査・設計」ではなく「点検・診断」に位置付けられ、補修設計

業務の入札に参加できない状況の改善を求めたことに対し、地整側は「申請主義なので、合致するものであればそちらで申請するよう協会内でも検討してほしい」としたほか、「工事に橋梁補修の資格ができたように、橋梁の補修設計をという話

は理解できる。制度面も含めて確認が必要だ」と回答。

融雪剤として使われ、塩害を引き起こす要因となっている塩化カルシウムに代わる材料の検討については、「入手しやすい安定量の確保を考えると、現時点で代替は難しい」とし、各診断士会が定期開催している勉強会への講師派遣や現場見学会のフィールド提供の要請には「ご要望いただければ個別に調整する」と承諾。地整側も国が主催する研修会などへの技術的助言などを診断



める中、職員には日頃か約15億円がそれぞれ配分され、災害復旧費には約10億円が配分されていると、東広島市の安芸津町に着け、残る被災箇所への工の仕方のやり方のベース」といっている。後に担当

と局整備 5県診断士会

士会側に求めた。

このほか、双方からの情報提供も行われ、診断士会側は5県で実施している技術定例会、現場研修会の開催や他団体への

占部建設工業を表彰

22年度建設工事優良成績

廿日市市は6月30日、市役所で2022年度建設工事優良成績者の表彰式を開き、21年度に完成した工事で優秀な成績を収めた占部建設工業広島支店に表彰状を贈った。

表彰式では、事務局の建設部が表彰制度の概要などを説明し、前田勝也部長が同社の山本知支店長に表彰状を授与した。

前田部長は「市としては4年ぶりの優良表彰。コロナ禍や資機材の高騰



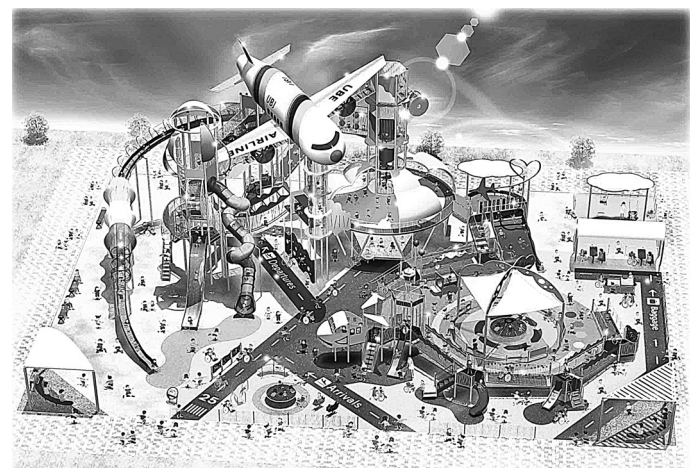
記念撮影

講師派遣事業、診断士育成のための受験対策講座などの活動状況を報告。地整側は老朽化対策に

タカオと9998万円で契約

宇部空港 大型遊具設置

宇部市は、設計・施工一貫プロポーザルで実施した「山口宇部空港ふれあい公園大型遊具設置事業」について、タカオと9998万7800円で



タカオの提案イメージ

契約を締結した。実施設計や工場制作、現地での設置工事を経て2023年春のオープンを予定している。

同事業は、県内外の人の情報や文化などの交流の場である山口宇部空港ふれあい公園（沖宇部）に新たな大型遊具を備え、遊びを通じた子供の健全な育成と子育て世代の交流の場として、より一層の振興を図ることを目的に実施する。

タカオの提案では、メイン遊具となる児童用コンビネーション遊具ゾーンには、高さ約12m、幅約29m、奥行き約23m、最大床高約11.5mのローラースライダーやスパ